

### 和牛子牛の取引頭数と価格の推移



※農畜産業振興機構のデータを基に作成

# 増頭へ今年が正念場

農畜産業振興機構の「肉用子牛取引情報」を基に全国102市場の取引頭数と価格を集計した。和牛子牛の取引頭数は前年比0.8%減の30万9778頭だった。14年から4年連続で過去最少を更新。取引頭数が最も多かった09年に比べると20%（7万8115頭）

少ない。「体力的な理由に加え、子牛が高値の間に母牛とともに手放して離農する高齢農家が増えている」と九州の市場関係者。

1頭平均価格は前年比1.1%安の78万6209円だった。枝肉相場が前年より安く推移したことと5年ぶりに前年を割り込んだものの、子牛不

## 17年 和子牛取引

# 4年連続で最少更新 生産基盤強化進まず

全国の家畜市場で2017年に取引された黒毛和種の子牛（和牛子牛）頭数が、統計のある1995年以降で過去最少を更新したことが、日本農業新聞の調べで分かった。一部産地で子牛を増頭する動きが出たが、それ以上に高齢農家の離農が進んでいる。取引頭数は5年間で14%の減少。1頭平均価格は前年をわずかに下回ったものの、依然、80万円近い高値となった。離農に歯止めをかけるとともに、繁殖経営の規模拡大や後継者対策など、生産基盤の立て直しが求められる。

▼9面「17年ランキング 子牛市場」

### 15 匂いで高温に強く



神戸大学と肥料メーカーは、作物を高温に強くする錠剤「すずみどり」を3月に発売すると発表した。有効成分は葉をつぶすと出る匂い的一种。ハウスの内に漂わせると、作物の高温耐性が高まる。

### 3 品種出願 ネットで可

農水省は植物新品種の登録について、3月からインターネットでの出願の受け付けを始める。郵送だけだったが、出願や登録料納付がネットでも可能になる。

### 2 沖縄県貸し牛舎整備

### 5 農地維持へ草刈り隊

### 論説 値決め方式の拡大期待

### テレビ・エッセー7面

## おはよう 名歌と名句 <3678>

ぐつたりと鯛焼ぬくし春の星  
(西東三鬼「西東三鬼」)

現代俳句の鬼才三鬼が葉山の地で逝去したのが昭和37年4月。掲句はその春の作。病床で手にした鯛焼。「ぐつたり」とは鯛焼への感触である。同時に素直な心情が吐露されている。来るところまで来た

実感だ。体調も遠くまで思いを慰めてくれる。間もなくおはよう、見納めの春のことか。

%減で推移してきたが、17年は1%に満たない減少幅にとどまった。近年の高値相場を受けて、一部の産地で増頭の動きがあったことが背景にある。酪農家で乳牛に子牛価格が高い黒毛和種を生

ませる動 ことも影 全国肉 後継 農を防 規模にか 建設や 支援が必

日本農業新聞は19日、第14回一村逸品大賞の中央審査会を東京都内で開き、大賞に岐阜県のJAいび川の「美濃いびジュレアート」を選んだ。同県勢が同賞を受賞するのは初めて。

「美濃いびジュレアート」は「抹茶」「ほうじ茶」「イチゴ」の3種類。茶葉は地元産の「美濃いび茶」、イチゴは地元産の「美濃娘」を100%使う。中央審査会で審査委員長を務めた漫画家のやくみつるさんは「実においしくまとまっ



「美濃いびジュレアート」を手にする審査委員長のやくみつるさん(19日、東京都千代田区で)